

## 平成 26 年 2 月総務企画委員会 議事概要

H26.2.24 作成

H26.2.25 修正

H26.3.11 修正

日時：平成 26 年 2 月 18 日(火) 18:00～20:00

場所：建築士会 会議室

出席者:(担当副会長) 長田 喜樹

(委員長) 金子 修司

(委員) 加藤 清、菊嶋 秀生、嵯峨野 雅彦、長谷川 行彦、村島 正章

(事務局) 佐川事務局長 田中職員

欠席者:(副委員長) 山成 芳直

(委員) 石井 明、加藤 高明、芝 京子、永井 香織

委員会冒頭に委員長より、横浜支部が 2/13～15 に実施した「神戸歴史的建造物・街並みを巡る旅」について報告されました。

《委員長》

・兵庫県はヘリマネ組織がしっかりしています。社会貢献に繋がりますので、本県も同様にできないでしょうか。

⇒地域性があるため、なかなか難しいと思います。本県では、個々で対応すればよいという考え方です。兵庫県は阪神淡路大震災に見舞われましたが、本県の歴史的建築物は、最近災害を受けていないこともあり、若干意識が薄いようです。(委員)

### <確認事項>

#### 1 前回(1/21)議事録の確認【資料 1】

○前回議事録案が異議なく承認されました(前回同様、メールリストで事前送付済み)。

### <協議事項>

#### 1 平成 26 年度(一社)神奈川県建築士会事業計画(案)について【資料 2】

《事務局より資料 2 に基づき説明》

・担当副会長よりご提案いただき、書式を変更しました。大きな変更点は、重点事業を一つとしたこと及び重複して掲載していた支部や委員会事業を整理したことです。

・会員数についての資料(P13)は、正副会長・常任理事会で求められ、同会議に提出したものです。予算について議論するにあたり、参考として本日の委員会資料に付けました。なお、同会議では未収会費についても報告を求められたので、報告しました。

《担当副会長より補足》

・従来の書式は、ただ羅列していただけでした。某県士会の書式が記載レベルも整っており、見やすかったので、参考に修正しました。なお、支部事業計画については、支部の意向を損なわない程度にまとめました。また、理事会の開催時期・回数を明記しました。

⇒理事会の開催時期について、「〇月第〇週」まで明記してはいかがでしょうか。

### 【質疑応答】

問:当資料(事務局作成予算案)は、他の委員会も目を通したのですか。

答:まだです。予算が赤字のままではよろしくないなので、正副会長・常任理事会でも、赤字への対

応方針を口頭報告した程度で、具体の額は示していません。

問：会議の回数は増えるのですか。

答：正副会長・常任理事会及び理事会は増えて然るべきと考えています。なお、支部長・委員長会議は、支部長会議と委員長会議に分けて開催した方がよいのではないかと、この意見があります。

※理事会の開催時期の明記方法について検討することになりました。

## 2 平成 26 年度(一社)神奈川県建築士会予算(案)について【資料 3】

《平成 26 年度(一社)神奈川県建築士会 事業別予算(案)に基づき説明》

・本資料は、あくまでも事業別の予算です。当委員会と正副会長・常任理事会でご意見をいただきましたので、平成 25 年度決算見込を追加しました。支部は、単年度ですと赤字ですが、繰越金を含めて収支均衡の予算を組んでいるため、枠外にしました。

・平成 25 年度は 2,180 千円の赤字見込です。要因の一つは委員会活動で、1,300 千円余の赤字です。前年度と比較すると、受験産業の N 社及び S 社が特別会員となったことによるバナー広告収入の減少と、専攻建築士の更新者の減少による収入減などがあります。

また、まだ精査途中ですが、前年度は 3 月の収支が収入 10,000 千円に対して支出 20,000 千円だったという説明が会長よりありましたが、そこに限らず、年間を通じて支出を抑えられなかったこともあります。

### 【質疑応答】

問：定期講習は、次年度も本年度同様の開催ということですか。

答：(法施行後最初の受講期限であったため)受講者の多かった平成 23 年度のリピーターと新規合格者がいるため、開催回数を増やしてはどうかと考えていましたが、教育講習委員会(定期講習開催実施 W・G)で議論いただいたところ、9～11 月で各月 1 回ずつ開催することになりました。神事協も開催しており、本会が 4 回開催してしまうと、(公財)建築技術児教育普及センター(以下「普及センター」という)の想定人数を越えてしまうとのことです。なお、四半期ごと神事協と交代で開催しているのですが、本会が担当している第二期(7～9 月)及び第三期(10～12 月)は、第一期(4～6 月)及び第四期(1～3 月)より受講者が集まりにくい傾向があります。これは、年度初めに普及センターより DM が発送され、その多くが第一期に申込ことと、駆け込みで受講される方が第四期に受講するためです。なお、第一期は、建築士試験業務があるため、本会が担当することは難しいです。

⇒年度当初に開催時期だけでも周知できれば、士会開催分に申込者が増えるのではないのでしょうか。

→周知開始時期に決まりがあったと記憶しておりますので、確認いたします。

問：携帯型免許証変更者は減少しているのですか。

答：減少しています。

《担当副会長より資料 3 に基づき、赤字対策の考え方を説明》

・参考までに、会員名簿の広告は昨日までで 20 社とのことです。これを考慮すると、バナー広告 80 社は難しいとは感じています。

《委員長》

・会費値上げと合わせて会員増もする必要があります。

### 【質疑応答】

問：会費をいくぐらいにするか、というシミュレーションはしていますか。

答：まだしていません。

《担当副会長》

・耐震診断業務等の委託事業があった時とは、考え方を抜本的に変える必要があります。

【質疑応答】

問：何も対処しないと、毎年 6,000 千円程度の赤字が出るということですか。

答：事務経費は実際に必要な額を計上していますので、そのようになると思われます。

《委員》

・同程度の会費で運営している他県士会の活動が本会よりも活発でなければ話は別ですが、そうでなければ、事務所の賃借料などの事務局経費を見直す必要があるという議論にもなると思われれます。

《委員》

・会費を値上げするのであれば、会費に対する人件費などの割合を他県士会と比較する必要があります。また、過去に値上げした際に退会者がどうだったかを調べる必要もあります。

参考までに技術支援委員会では、会費値上げに反対ではありませんが、良い顔はしません。特に会誌について議論になりました。例えば、夫婦で会員であれば会誌は 1 冊で構わないと思いません。事務局から連合会に話してみるべきです。

⇒他士会も赤字ですので、連合会もわかっているのではないのでしょうか。

⇒他県では、事務所協会と士会が一緒になっているので、例えば事務所の賃借料を折半するなどで削減しています。

《委員》

・赤字のままではまずいので、内部留保を取り崩すこととなります。やはり平成 27 年度より会費値上げをしなければならぬと思います。

⇒いきなり大きく上げるのではなく段階的にすべきではないでしょうか。

《委員》

・会員増を掲げていますが、2~3% ずつの増加が限度だと思います。

《委員》

・とりあえずは取崩金で収支均衡にするしかないと思います。

⇒このことを明記する必要があります。

⇒現在赤字見込みとなっている金額をそのまま入れてしまうとシーリングの必要性がなくなります。

⇒シーリングを十分にした上で取崩をしてはいかががでしょうか。

**※他士会の会費収入や人件費などの割合を調べて報告することになりました。また、今後の見通しとして、シーリング+会費値上げ+会員増強を念頭に議論することになりました。**

＜報告事項＞

1 について【資料なし】

《担当委員より報告》

【質疑応答】

問：講師は東京の方とのことですが、講演を依頼した経緯を教えてください。

答：TVK で講演をおこなっているとのこと…

＜その他＞

1 (公社)日本建築士会連合会 第 8 階定例理事会について【資料 4】

《事務局長より報告》

・ドライクリーニング工場の実態調査は3ヶ年事業の予定でしたが、本年度に千葉県が着手したことから、平成26年度も予算請求しています。本県も全て調査し終わったわけではないので実施するとのことでしたので、予算では本年度の実績50件を計上しました。

全国大会は、会員数の割には参加者が少ないですが、幅広く参加しているようです。なお、平成30年度に埼玉県で開催します。

【質疑応答】

問：各士会正会員数一覧(P22)の望ましい正会員数とは何ですか。

答：連合会がアンケートをとった際に各士会が回答した数値です。

○その他

・第57回神奈川建築コンクール入賞作品見学会

・「近代神奈川の建築と都市」講演会&見学会

・女性委員会発足20周年記念イベント

《事務局より報告》

・CPD協議会へ消費者団体に参加いただいているので、そこへ周知をお願いする予定です。

【質疑応答】

問：企画としては面白いと思われるのに、参加者が集まらないのはなぜでしょうか。

答：イベントが多過ぎるのだと思います。

⇒数を減らして参加者が多くなると、それはそれで大変なので、20～30程度の方が良いという意見もあります。

**次回は平成26年3月11日(火)午後6時からの開催です。**